

# 教育概論Ⅱ (中高) -14 (まとめ)

担当：鵜殿篤



<http://meganeculture.boon.jp/2019/09/19/gairon2/>

▼語学・心カ・教福・服美・表現 1/25(補講) / 栄養・環教 1/14

テスト期間は、1/21(火)00:00～1/27(月)24:00です。テスト問題には、教育概論Ⅱのトップページから入れます。

※何回やり直しても大丈夫ですが、最新の答案を採点します。

※加点形式で採点します。

※絶対的評価(到達度評価)で採点します。

## ■教育課程とは何か？(第1回)

・教育課程とは、一般的には、学校の目的を達成するための「計画」のことです。学習指導要領の言葉では、「教育内容等を組織的かつ計画的に組み立てたもの」です。

※教育課程の意義と役割を説明できますか？

・「目的」を適切に設定できているかどうか、極めて重要です。

※どのような方針で「目的」を定めるべきか、文部科学省の考えを理解していますか？

・目的を実現するために、「計画→実行→評価→改善」というプロセスを繰り返します。

いわゆるPDCAサイクルです。

※教育課程を中核としてPDCAサイクルを回すことを、学習指導要領は何と呼んでいましたか？

## ■学習指導要領とは何か？(第1回、第11回)

・学習指導要領とは、文部科学省が発行している文書で、教育課程の大綱が示されている文書です。目的の一つは、教育水準を全国的に確保することです。

※学習指導要領の役割と存在意義について説明できますか？

## ■「学力」とは何か？(第2回～第3回)

・学力の三要素とは、(1)知識・技能(2)コンピテンシー(3)ソフトスキルです。

※文部科学省が学力の三要素を中核として教育を推し進めている社会的歴史的な背景について説明できますか？←PISAショック、知識基盤社会、Society5.0

## ■教科とは何か？(第4回～第6回)

・各教科は、学校教育法および学校教育法施行規則を根拠として成立しています。

※学校教育法や学校教育法施行規則が定めているルールについて説明できますか？

・カリキュラム・マネジメントでは「教科等横断的な視点」を導入することとされています。

※教科等横断的な視点について説明できますか？←コンピテンシーによる横断(言語能力

・情報活用能力・問題発見解決能力)

## ■主体的・対話的で深い学びとは何か？(第7回)

・アクティブライニングがあまりうまくいかなかったので、考え方を調整するために、新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が提唱されています。特に「深い学び」が重要です。

※主体的・対話的で深い学びとはどういうものか、具体的に説明できますか？←言語活動、IT化への対応、見通しや振り返り、体験活動等

※「深い学び」とはどういうことか、説明できますか？

## ■「ゆとり教育」とは何か？(第8回～第9回)

・本質的な問題は学力低下のような表面的な現象ではなく、自由が拡大したことによって格差も拡大したことでした。

※授業時間削減や学校選択制のメリットとデメリットについて説明できますか？

## ■特別活動とは何か？(第10回)

・各学校は、学習指導要領に定められているとおり、特別活動を行わなくてはなりません。

※特別活動とはどのようなものか、説明できますか？

## ■社会に開かれた教育課程(第11回)

・これからの教育課程は、社会に開かれる必要があります。

※社会に開かれた教育課程が提唱されるようになった背景を説明できますか？

※コミュニティスクールとはどのようなものか、説明できますか？

## ■生きる力とは何か？(第12回)

・「生きる力」とは、従来は「知徳体のバランス」でしたが、それを引き継ぎつつ、新学習指導要領では学力の三要素を踏まえて理解されています。

※学習指導要領の言う「体」の全体的な内容を説明できますか？

## ■「評価」とは何か？(第13回)

・学習評価とは、子どもたちを比較するためではなく、指導の改善や学習意欲を向上させるために行うものです。

※学習評価の意義と役割について説明できますか？

※学習評価にどのような種類があって、それぞれどのような特徴があるか説明できますか？

## ■出席と感想

